

授業科目 保健体育科教育法Ⅰ

【担当教員名】 埴 佐敏、西原 康行		対象学年	2	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○			◎	
【概要・一般目標：GI0】					
(1) 保健体育科学習指導要領の変遷を時代の変化との関連で理解できる。					
(2) 新しい時代における中学校・高等学校の学習指導要領を理解し、学習指導の在り方を理解できる。					
(3) 新学習指導要領に基づいた年間指導計画を作成することができる。					
【学習目標】					
(1) 戦前・戦後、そして現代における保健体育科教育の課題と問題点などから、学習指導要領の変遷を理解できる。					
(2) 運動手段論の時代と運動目的・内容論の時代における授業の考え方や指導法及び評価法の違いを説明できる。					
(3) 学習指導要領に示されている運動領域の特徴を説明できる。					
(4) 新学習指導要領の主旨を理解し、年間指導計画を作成できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、体育科教育とは。				講義
2	学習指導要領の変遷			1,2	講義
3	学習指導要領の変遷と体育科教育の変遷			1,2	講義
4	学習指導要領改訂の要点			1,2	講義
5	学習指導要領総則と体育			2	講義
6	体育科の目標・内容			2	講義
7	体育の学習指導			2	講義
8	体づくり運動			3	講義
9	器械運動			3	講義
10	陸上競技、水泳			3	講義
11	球技、武道			3	講義
12	ダンス、体育理論			2	講義
13	体育授業の評価、年間指導計画の作成の仕方			4	講義、個人作業
14	年間指導計画の作成			4	個人作業
15	年間指導計画の作成、まとめ			4	個人作業、講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		保健体育科教育法	杉山重利、高橋健夫、園山和夫編	大修館書店	2009・2,600円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席(5%)、授業への参加態度(15%)、課題(10%)、テスト(70%)			【履修上の留意点】		